

小学校国語【R4 新木小学校】



○本校の平均正答率が県66%, 全国65.6%とほぼ同じである。

(1) 調査結果についての考察

① 物語文を読み取る問題

・「物語から伝わってくることを考えて、自分の考えを書く。」といった記述式の問題では、「〇〇文字以上〇〇文字以内で書く。」といった条件をつけて問われると、無解答の児童が多かった。途中まででもいいので、書けるように練習が必要である。

② 説明文を読み取る問題

・記述の問題では、与えられた条件を入れながら文章にできるかがポイントである。
・文章の中での大切な言葉(キーワード)を選ぶ力を身につけることが必要である。

③ 漢字・文法の問題

・「ろくが(録画)」を漢字にする問題の正答率が低かった。その原因として、「ろく」という漢字を「緑」と答えてしまう児童が多かった。

④ 聞き取りに関する問題

・全国平均よりも上回って正答できた。特に、発言の理由を答える問題の正答率が高かった。

(2) 今後の取り組み

・文を書くことへの抵抗感を減らすために、モジュールの時間(15分学習)を活用して書き方の条件をつけた短文を書く活動を週に1回程度、取り組んでいきたい。
・記述式の問題に慣れていくために、①条件を入れて書く力 ②文章から大切な言葉を選ぶ力 ③文と文をつなぐ言葉(接続詞)を使って書く力 ④「起承転結」のある文章を書く力を身につけるように日々の授業の中で指導したい。
合わせて、部分的でもいいのでまずは自分なりの文章を書いてみることを大切にしながら指導していきたい。

小学校算数【R4 新木小学校】



○本校の平均正答率が県63%, 全国63.2%に比べてやや下回っている。

(1) 調査結果についての考察

① 割合を求める問題

立式の理由や問題の条件が複雑化した問題の求め方を書くことが苦手な児童が多いことがうかがえたので、式の意味を意識できていないと推察できるので、日頃から他教科との関連性を考えた問題を作るなどして、問題に慣れていくことが必要である。

② 説明する機会を多く持ち、思考力・判断力を身につけていく。

「どのように答えればよいか。」「今まで習った学習方法で解けないだろうか。」といったように、学習の見通しを持って取り組んでいく必要がある。また、「なぜその考え方は間違っているのか。どこが間違っているのか。」ということ自分の言葉で説明できる力を身につけていく。

③ 前学年までの学習を定期的に復習する。

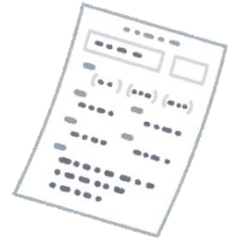
特に、つまずいていた5年生の問題の復習を定期的に復習していく必要がある。

(2) 今後の取り組み

- ・前学年までの復習をモジュールの時間(15分学習)を活用して、計画的に実施していく。
- ・普段から算数の問題が身近な場面で活用できないかというように、視野を広げて指導していく。特に割合の問題では、「○割引」た「○%OFF」という札をよく目にするので、割り引いた値段がいくらなのかをその場で頭の中で考えて、買えるように指導していく。
- ・学習の振り返りを行うことで、児童のつまずきに気付き、必要であれば補足をしたり、再度学習し直したりして学力を高めていく。

児童アンケート【R4 新木小学校】

児童のアンケートから、特徴的であった質問と回答をまとめましたので、参考にしていただけたらと思います。



【質問1】携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

【特徴】家の人と約束したことを「守っている」割合が約半分と高いが、「持っていない」の割合も全国から見れば高いことが分かった。

【質問2】普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（スマホゲーム、Switch等も含む）をしますか。

【特徴】「4時間以上」が全国と同じ割合であった。食事・入浴・宿題以外の大半の時間をおそらくテレビゲームに費やしている時間ということが推測できる。また、就寝時間比較的遅いことが結果から予想できる。

【質問3】自分にはよいところがあると思いますか。

【特徴】全国よりも、20ポイント高い。自分の長所を認識していることはとても良いことなので、今後も継続していきたい。

【質問4】家で学校からの課題で分からない事があった時、どのようにしていますか。

【特徴】「友達に聞く」という回答の割合が全国よりも15ポイント低いので、授業等でも話し合いをする機会を多く持ち、コミュニケーション能力を育てていく。

【質問5】学校の授業以外に、月～金にどれくらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾や家庭教師等も含む）

【特徴】学習塾や家庭教師等も含んでも、「2時間以上」平日学習している児童の割合が全国よりも10ポイント低い。できるだけ学校でも学習習慣の定着を図っていけるように指導していく。

【質問6】5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

【特徴】週3日以上使用している割合も多いが、月1回以上の割合も多い。このことから、クラスによって使用しているクラスとそうでないクラスの差があるのではないかと分析した。学校でもどの学級も平等に学習できる体制に努めていく。